

〈研究発表1〉

クリーン修学旅行

～「情操教育の推進」を目指した43年間の歴史～

栃木県真岡市立中村中学校
校長 塚原 康雄

1 本校の概要

本校、中村中学校の位置するところは、栃木県の南東にある真岡市の西部で、鬼怒川左岸の洪積台地にあり、古くから交通の要所として発展してきた。現在では、南北に縦貫する国道408号線、294号線と東西の県道真岡壬生線が、学区の中央に位置している。学校西側から南側にかけては水田が広がり、洪積台地の畑地ではメロンやナスなどの果実や野菜が栽培されている。学区の中央部から北側は、大規模工業団地で、約70社が操業し、学区の住民も多く勤務している。近年北側の長田地区に住宅地が整備され、新興住宅地となっており、長田地区は人口の急増が見られている。



本校の生徒数は、本年度258名、普通学級9クラス、特別支援学級2クラスであり、職員数は25名である。

2 「クリーン修学旅行」とは？

1972年・昭和47年に始まった「クリーン修学旅行」は、その年により、多少内容の変遷が見られるが、おおまかにまとめると次のようになる。



生徒の情操教育の推進を目指し、見学先や宿泊先に、手作りの巣箱や雑巾などを贈ったり、旅行先で清掃活動をしたりする修学旅行

3 本校の教育活動とクリーン修学旅行の位置づけ

本校の教育目標やその達成のための具体策は、**資料1**のとおりである。本校の教育目標は4つあり、その達成に向け具体策を示してあるが、「クリーン修学旅行」は「情操教育の推進」と「勤労奉仕活動の推進」の具体策として位置付けられている。

(1) 情操教育の推進

情操教育の推進の具体策は、クリーン修学旅行の他に「朝の読書の推進」・「福祉教育の充実（高齢者福祉 活動、手話体験等）」・「体験活動の推進（自然教室、和楽器教室、思春期教室等）」・「国際交流活動の推進（アメリカ カリフォルニア州 サンドバーグミドルスクールと姉妹校として交流）」がある。



(2) 勤労奉仕活動の推進

「クリーン修学旅行」以外の具体策として、「クリーン活動」と「アルミ缶回収」があり、これも永年にわたり実施してきている。「クリーン活動」は、生徒が学校周辺のゴミ拾いを行うもので、「アルミ缶回収」は、保護者会の前などに保護者の方にお知らせして、学校全体で回収に取り組むものである。



* 「一隅清掃」について

「クリーン修学旅行」の歴史に新たな1ページを加えようと、「クリーン修学旅行」と関連させ、最澄の教えであり記念碑にもなっている「一隅を照らす、これ国宝なり」の言葉から、本校の毎日の清掃を「一隅清掃」と命名し、今まで以上に熱心に清掃に取り組む生徒の育成を図ることとした。目標は「自分たちが使っている学校を、心を整え、自主的に考え、無言で清掃することができる。」である。また、ある教師は週案にこの



ように記してあった。「一隅清掃の後、反省を発言させているが、それを聞くと生徒は自分なりに工夫し取り組んでいることが分かる。しゃべらないことで内省化が進み工夫が生まれる。それだけではなく、その工夫が表現になって表出しているのではないだろうか。無言の時間を設けることによって逆に言語活動を豊かにしている。」

4 本校「クリーン修学旅行」の歴史

初年度昭和47年から今年平成26年までの43年間の歩みを、簡単に紹介する。

【1972年・昭和47年】

- ・生徒会活動の一部として、「修学旅行先を汚すのではなく、きれいにしよう。きれいにすることで、自分たちの心もきれいにしよう。」という考えから、奈良東大寺に巣箱30箱、宿泊先に雑巾50枚を贈呈した。
- ・そのお礼として、東大寺より書籍『奈良の大仏様』を10冊いただいた。

【1973年・昭和48年】

- ・生徒会で「今後は、中村中学校生徒会の特色として活動を継続していこう。」と合議された。
- ・比叡山延暦寺・宿泊先に雑巾、奈良公園・薬師寺に巣箱を贈呈した。
- ・薬師寺より『心』など4冊の書籍をいただいた。
- ・比叡山延暦寺よりお礼のお手紙をいただいた。

【1974年・昭和49年】

- ・「日本の古都をきれいに、長く保存していただきたい。」との願いから、平安神宮などに立て札やごみ箱（石油缶を再生利用し、緑のペンキで塗装し、白で「心はいつも清潔に」と書いたもの）を贈呈した。
- ・宿泊先・延暦寺に雑巾、東大寺・薬師寺に巣箱を贈呈した。

【1975年・昭和50年】

- ・雑巾、ごみ箱、花木の種、立て札などを旅行先各所に贈呈した。ごみ箱を運んだ生徒は新幹線のホームなどで多くの人から質問をうけ、「感心ですね。」などとお褒めの言葉をいただいた。



比叡山延暦寺に、ゴミ箱と雑巾、立て札を贈呈

「文化財を大切にしよう」

【1976年・昭和51年】

- ・延暦寺、東大寺、宿泊先などに雑巾、ごみ箱、情操の木（どうだんの苗）を贈呈した。
- ・延暦寺では、そのお礼に、特別に数十分のご法話を聴かせていただいた。

【1977年・昭和52年】

- ・延暦寺、東大寺、宿泊先などに雑巾、ごみ箱、情操の木（どうだんの苗）を贈呈した。
- ・寄贈先から感謝状をいただいた。

【1978年・昭和53年】

- ・薬師寺、延暦寺、東大寺、宿泊先などに雑巾、ごみ箱、情操の木（どうだんの苗）を贈呈した。

【1979年・昭和54年】

- ・情操教育のテーマを「人を愛し、人を信じ、人に尽くす」とし、善行の修学旅行を継続して行うこととした。
- ・小さな親切運動全国大会『あの時はありがとう』の中で、本校のクリーン修学旅行の紹介と比叡山延暦寺 小堀光詮執行様との対面の行事があり、執行様よりお褒めの言葉をいただいた。
- ・延暦寺、東大寺、宿泊先などに雑巾、ごみ箱、情操の木（さつきの苗）を贈呈した。
- ・1年生（会津若松）2年生（東海村）もクリーン遠足を実施した。



昭和53年 薬師寺へ

【1980年・昭和55年】

- ・延暦寺、東大寺、宿泊先などに雑巾、ごみ箱、情操の木（どうだんの苗）を贈呈した。



【1981年・昭和56年】《10周年》

- ・延暦寺、東大寺、宿泊先などに雑巾、ごみ箱、情操の木（どうだんの苗）を贈呈した。
- ・先輩から引き継いだ善行の修学旅行が伝教大師の教えに合致し、数年継続していた「小さな親切運動」の精神にも一致していることが比叡山延暦寺の高僧の目にとまり十年間の実践の区切りとして、感謝状をいただくこととなった。
- ・感謝状贈呈式は、本校体育館で延暦寺の高僧3名をお迎えして行われ、ねぎらいの言葉、お座主のご染筆（書）2点（『忘己利他』『照干一隅』）、金一封（十万円）をいただいた。学校ではこれを記念し「一隅を照らす、これ国宝なり」の祈念碑を建立した。生徒一同が善行の意義と今後の継続を再確認する絶好の機会となった。

《比叡山からおいでいただいた方》

比叡山延暦寺宗務総長・一隅を照らす運動総本部長

中里 徳海 様

比叡山延暦寺総務部長 小堀 光詮 様

一隅を照らす運動総本部次長 筒井 泰道 様

・東大寺から10周年の記念として管長の書『華』が贈呈された。

・薬師寺から10周年の記念品が贈呈された。

【1982年・昭和57年】

・全学年一斉に創意の時間に自分たちの手で雑巾を完成させた。

・作成した雑巾やごみ箱・丹精を込めて育てた情操の木を見学先など6カ所に寄贈した。

・1、2年生の遠足でも同様の活動をし、会津若松市からお褒めの言葉や感謝状をいただいた。

・『日本列島クリーン大作戦』という見出しで新聞に掲載された。

【1983年・昭和58年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

【1984年・昭和59年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

【1985年・昭和60年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

【1986年・昭和61年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先・バス会社などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

・クリーン・グリーン修学旅行としてTBSで放映された。・社 昭和60年 延暦寺へ
会科見学（足尾銅山、日光博物館）でも実施した。

【1987年・昭和62年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

・社会科見学でも実施した。（日光東照宮、日光博物館、会津若松）

【1988年・昭和63年】・【1989年・平成 元年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

・社会科見学でも実施した。（奥日光、東京上野公園）駅の清掃

【1990年・平成 2年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・情操の木を贈呈した。

【1991年・平成 3年】

・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。

・奈良公園の自由行動の時間にゴミ拾いを実施した。



【1992年・平成 4年】 《20周年》

- ・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾・ゴミ箱・情操の木を贈呈した。
- ・クリーン修学旅行20周年にあたり、学校祭において、比叡山延暦寺から表彰をいただき、延暦寺執行大僧正 小林 隆彰先生に「一隅を照らす」の講話をしていただいた。
- ・記念品として、天台宗山田恵諦座主ご染筆『忘己利他』の書が贈呈された。
- ・卒業生が20周年を記念し、卒業記念として『忘己利他』の碑を建立した。



【1993年・平成 5年】

- ・延暦寺・二条城・東大寺・平安神宮・薬師寺・宿泊先・食事先などに雑巾を贈呈した。

【1994年・平成 6年】

- ・延暦寺・三十三間堂・東大寺・平安神宮・宿泊先・食事先・バス会社などに雑巾を贈呈した。
- ・奈良公園の清掃活動を行った。

【1995年・平成 7年】～【2000年・平成12年】

- ・延暦寺・三十三間堂・東大寺・平安神宮・宿泊先・食事先・バス会社などに雑巾を贈呈した。

【2001年・平成13年】《30周年》



- ・延暦寺・三十三間堂・東大寺・平安神宮・宿泊先・食事先・バス会社などに雑巾を贈呈した。
- ・延暦寺において、本堂での特別講話後、根本中堂の清掃活動をさせていただいた。
- ・30周年を記念し、本校で記念式典および講演会を実施した。
《比叡山からおいでいただいた方》
比叡山延暦寺来校一山無量院住職大講堂輪番 赤松光真 様
一隅を照らす運動総本部長 獅子王圓泰 様
- ・贈呈された記念品

天台座主ご染筆色紙 『能行能言』(延暦寺より)

天台座主ご染筆書 『能行能言之国宝也』(一隅を照らす運動総本部より)

【2002年・平成14年】～【2010年・平成22年】

- ・延暦寺をはじめとする見学地、宿泊先、バス会社などに全校生徒手作りの雑巾を贈呈した。
- ・延暦寺において、本堂での特別講話後、根本中堂の清掃活動をさせていただいた。

【2011年・平成23年】《40周年》

- ・延暦寺をはじめとする見学地、宿泊先、バス会社などに全校生徒手作りの雑巾を贈呈した。
- ・延暦寺において、本堂での特別講話後、根本中堂の清掃活動をさせていただいた。
- ・40周年を記念し、記念式典および講演会を実施

《比叡山からおいでいただいた方》

比叡山延暦寺副執行 管理部長

小堀 光實 様

一隅を照らす運動総本部長

福恵 善高 様

- ・贈呈された記念品

天台座主ご染筆色紙 『照于一隅』・感謝状(延暦寺より)

天台座主ご染筆書 『慈眼視衆生』・表彰状(一隅を照らす運動総本部より)



【2012年・平成24年】～【2014年・平成26年】

- ・延暦寺をはじめとする見学地、宿泊先、バス会社などに全校生徒手作りの雑巾を贈呈した。
- ・延暦寺において、本堂での特別講話後、根本中堂の清掃活動をさせていただいた。

5 今年のクリーン修学旅行

他校の修学旅行と比べ、雑巾の贈呈と比叡山の清掃以外、大きな特徴はない。

資料2 を参照。

6 成果と課題

(1) 成果(生徒の実態から)

- ・自らの学校に対して誇りをもっており、地域の方々によって支えられているという意識も高い。
- ・日々の生活態度に落ち着きが見られ、今の自分を、自分の先祖や地域の方々との関わりの中で捉えることができる。
- ・他を思いやる心や他に感謝する心が育ってきている。
- ・奉仕的な活動に積極的に取り組むことができる。
- ・生徒の中に「やるべきことをしっかりやるさう」という
券 囲気を感じられる。
- ・学校での清掃への取り組みが、自主的かつ意欲的なものになってきた。
- ・部活動などにも積極的な取り組みが見られる。



昨年度全国駅伝競走大会
女子の部 6位

これまでの部活動等の成績について**資料3** にまとめた。

(2) 課題

ア 「一隅清掃」に関して

- ・今年度始めたばかりであり、十分に定着したとは言えないが、1・2年生は、毎日、修学旅行で根本中堂を清掃させていただくことを想像しながら、清掃に取り組んでいる。

イ 修学旅行に関して

- ・日程が固定化されてしまい、応用が利かない。

ウ 生徒の実態に関して

- ・指導されたことに関しては素直に従うが、自分で判断し行動しようとする自主性に乏しい。
- ・心の教育を更に推進していきたい。

資料 1

教育目標達成のための具体策(平成26年度)

教育目標		校訓
1 じょうぶでがんばる生徒 2 深く正しく考える生徒 3 明るくすなおで思いやりのある生徒 4 勤労を尊び郷土を愛する生徒		自主の精神
教育目標	項目	具体策
じょうぶでがんばる生徒	基本的生活習慣の育成 体力づくり 危険予測・回避能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ励行、時間の管理(登下校、始業等) ・規範意識や倫理観を育てる指導の充実 ・健康管理能力の育成 ・保健体育科の授業の充実 ・新体力テストの結果を生かした指導 ・部活動の充実 ・安全意識の高揚と実践力の育成 ・交通安全指導、避難訓練の実施
深く正しく考える生徒	分かる授業の推進 自ら考え表現する力の育成 学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の習得のための指導の工夫 ・3年間を見通した系統的な指導と評価の計画の改善 ・指導技術の向上 ・めあてを明確にした授業展開 ・ユニバーサルデザインの視点からの授業の構築 ・思考力・判断力・表現力等の育成のための指導の工夫 ・創造性を重視した活動の推進 ・意欲的に取り組む授業づくり ・学習規律の徹底 ・家庭学習の充実のための工夫
明るく素直で思いやりのある生徒	思いやりのある生徒の育成とよりよい人間関係づくり 情操教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を生かした学年・学級経営の充実 ・学びに向かう集団づくり ・いじめや差別を許さない学級づくり(人権教育の推進) ・道徳の時間、及び道徳教育の充実 ・学級活動における話し合い活動の充実 ・クリーン修学旅行の継承 ・朝の読書の推進 ・福祉教育の充実(高齢者福祉活動、手話橋梁等) ・体験活動の推進(自然教室、和楽器教室、思春期教室等) ・国際交流活動の推進
勤労を尊び郷土を愛する生徒	勤労奉仕活動の推進 郷土愛を育てる指導 自主的に行動できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン修学旅行の継承 ・清掃活動の充実「一隅清掃」 ・クリーン活動、アルミ缶回収の推進 ・廃品回収の実施 ・地域行事への積極的な参加 ・道徳の時間での地域教材の活用 ・自主性を尊重した特別活動の推進 ・生徒会による自主的実践的な活動の推進

・「項目」の中の太字は、今年度の「努力点」

資料 2

平成 26 年度 第 3 学年クリーン修学旅行実施計画

真岡市立中村中学校

1 旅行の目的

- (1) かつてわが国の政治・経済・文化の中心地であった京都・奈良を見聞することにより、授業で学んだことの深化・発展を図るとともに、文化財愛護の精神を養う。
- (2) 集団による生活や行動を通して、きまりや公衆道徳を守りよき社会人となるための資質を身につけ、自他の健康管理や安全生活に留意できる。
- (3) 教師と生徒、生徒と生徒が寝食を共にする事によって、信頼関係や友情を深め生涯のよき思い出をつくとともに、これからの学校生活の充実を図る。
- (4) クリーン修学旅行を実践し、本校のよりよき伝統の継承を図る。

2 旅行日程及び主たる見学場所

- (1) 期 日 平成 26 年 5 月 27 日(火)～5 月 29 日(木) 2 泊 3 日
- (2) 旅行地 関西方面(京都府及び奈良県)
- (3) 旅行行程

◇第 1 日目 5 月 27 日(火)

学校(バス) ——— 宇都宮(東北新幹線) ——— 東京(東海道新幹線) ——— 大阪(バス)
—— 法隆寺(昼食後見学、バス) ——— 薬師寺(バス) ——— 東大寺(バス) ——— 旅館

◇第 2 日目 5 月 28 日(水)

旅館 ----- 京都市内班別自主研修(タクシー) ----- 嵐山散策 ~~~~~ 旅館

◇第 3 日目 5 月 29 日(木)

宿泊地(バス) ——— 比叡山延暦寺(法話及び奉仕活動)京都 ——— 峰道レストラン ———
—— 京都(東海道新幹線) ——— 東京(バス) ——— 学校

3 参加人員

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| (1) 生徒 | 男子 36 名 | 女子 43 名 | 計 79 名 |
| (2) 引率者 | 校長 1 名 | 教諭 6 名 | 計 7 名 |

- 4 経費概要 生徒一人当たり 65,000 円 (積立金より支出)

5 事故防止対策

- (1) 事前指導を綿密に行い、行事の目的から逸脱した行動をとらせない。
- (2) 援助指導を要する生徒には十分な個別指導を行う。
- (3) 関係府県衛生部・警察署・消防署に事前に調査を依頼し、また、指導を受ける。
- (4) 緊急時には、マニュアル(別計画)に従って連絡をし、指導を受ける。
- (5) 健康調査を十分に行うとともに、万一に備えて保険証の写しを携行する。
- (6) 宿泊施設の避難経路を確認させ、実際に行動させる。
- (7) 事後指導を十分に行い、行事の意義を深めるとともに健康状態の把握に努める。
- (8) 特別支援学級生徒に必要な支援ができるよう努める。

6 クリーン修学旅行に関する事前指導

- (1) 事前指導：生徒会による雑巾の製作と準備
- (2) 雑巾贈呈の代表者決定と贈呈に関する指導

資料 3

これまでの主な受賞内容

団体については県優勝以上 個人については関東入賞以上

昭和

- 47 ○全日本ジュニア陸上競技選手権大会 砲丸投げ 優勝
○全日本中学校環境緑化コンクール 特選
- 48 ○簡易保険全国作文コンクール 知事賞
○関東中学校陸上競技大会 男子 砲丸投げ 2位
女子 走り幅跳び 1位 2位 80mH 2位
- 49 ○栃木県総合体育大会 女子バドミントン 団体 優勝
○関東中学校陸上競技大会 女子 砲丸投げ 2位・3位 走り幅跳び 3位
男子 砲丸投げ 5位
○全日本ジュニア陸上競技選手権大会 女子 走り高跳び 2位 砲丸投げ 6位
○全日本中学校陸上競技選手権大会 3種競技 2位
○日本PTA全国協議会より 優秀団体として本校PTAが受賞
○全国花いっぱいコンクール 地区最優秀賞
- 50 ○関東中学校陸上競技大会 女子 砲丸投げ 優勝 走り高跳び 優勝
○全日本中学校陸上競技選手権大会 女子 砲丸投げ 1位 走り高跳び 3位
- 51 ○小さな親切運動本部より 本校実践活動に対して表彰
○関東中学校庭球選手権大会 個人 3位
○関東中学校陸上競技大会 男子 走り高跳び 4位
女子 砲丸投げ 2位・6位 80mH 3位 走り幅跳び 6位
- 50・51 ○TBS こども音楽コンクール 東日本 優秀賞
- 53 ○「小さな親切運動 全国表彰」
- 54 ○読売教育賞 入賞(情操教育)
- 56 ○全日本中学校通信陸上競技大会 1500m 8位
- 60 ○栃木県総合体育大会 サッカー部 優勝 関東大会 準優勝
○栃木県新人陸上競技大会 男子の部 優勝

平成

- 17 ○関東中学校駅伝競走大会男子の部 6区 区間賞
- 18 ○栃木県中学校駅伝競走大会 女子の部 優勝 関東 3位 全国 8位
- 19 ○環境美化教育優良校等表彰において散乱防止実践活動に対し最優秀校表彰
○関東中学校陸上競技大会 共通女子 1500m 2位
○栃木県中学校駅伝競走大会 女子の部 優勝 関東 3位 全国 5位
○関東中学校駅伝競走大会 1区 区間賞
○全国環境美化教育優良校表彰 最優秀校
- 20 ○東日本女子駅伝競走大会 4区 区間賞
○全日本中学校通信陸上競技大会 共通女子 800m 6位 1500m 6位
- 21 ○東日本駅伝競走大会 第4区間賞
○関東中学校駅伝競走大会 女子の部 第4位
○関東中学校駅伝競走大会 女子の部 1区区間賞
- 22 ○関東中学校陸上競技大会 共通女子 1500m 1位
○全日本中学校陸上競技選手権大会 女子 1500m 2位
○関東中学校駅伝競走大会 女子の部 第2位
- 23 ○関東中学校陸上競技大会 共通女子 1500m 1位 1年男子 1500m 5位
○共通男子 3000m 5位 共通女子 1500m 7位
○全日本中学校陸上競技大会 共通女子 1500m 2位 共通女子 800m 2位
○国民体育大会陸上競技少年女子 1500m 5位
○東日本女子駅伝 第4区区間賞
○全日本中学校通信陸上競技大会 女子共通 800m 1位
○栃木県中学校駅伝競走大会 女子 優勝 関東 3位
- 24 ○栃木県中学校女子駅伝競走大会 女子 優勝 関東 4位 全国 4位
- 25 ○関東中学校陸上競技大会 共通女子 800m 6位
○県新人陸上大会 女子総合優勝
○栃木県中学校駅伝競走大会 女子の部 優勝 関東 3位 全国 6位